

速さへの挑戦 抜かれたら抜きかえす!!



MAX SPEED
309.278km/h!



▲最高速軍団に喰い込んだHKS千葉・Z



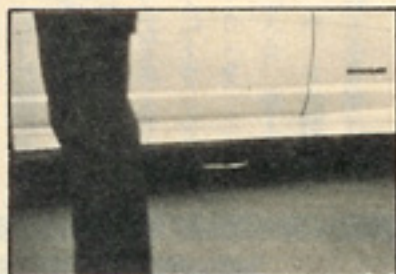
頂点に立
309.278

、6・052km/h、6位につけている。
まずはHKS千葉・フェアレディZが高速周回路(一周5.5km)に飛び出す。スタートは午前5時59分、ドライバーは井上晴男選手だ。既に296km/hをマークしているだけに誰の目にも300km/hはオーバー、は確実、ひよっとすると日本新、そう映っていた。エキゾーストノートを響かせながら北バンクへ消える。1分

少々の間を置いて再び我々の前に現われる。計測ポイント通過、カウンタに1・199とカウントされる。すぐさま計測班が計算に移る。300・250km/h、届いた、その場の全ての人間、当事者、スタッフ、そしてライバルたち、それぞれの表情が違つた。
2周目に入る、1周目でいきなり300km/hオーバー、HKSのスタッフやオーナーの金本クン以外の人間でもこれはイケると思った。再度北バンクに消える。しかし今度はなかなか姿を見せない。イラ立つ中大幅にスピードダウン……。そしてピット前に止まる。
HKSの面々もとよりワツとZの周りに人が集まる。Zの後方にはオイルが点々と漏れている……。
井上選手によると、2周目北バンクに野犬が3匹ほどいて、フルブレーキを掛けたために、ミッションにストレスがきて、イッてしまったというのだ。1周目300km/hオーバー、そしていいよ、というところで痛恨の……。不運としか言いようがない。HKSのスタッフ、オーナーの金本クンの顔色が曇った……。
HKSのスタッフはZをジャッキアップし原因を極める。井上選手は次のマシン、トラスト・ソアラに乗り込む。仕様は前述の通り、あの時と変わっていない。豪快なサウンドで走り出す。



▲無念にもミッションから……



「レースで養生(宮城)へ行つてたんで谷田部には行けなかったんだけど、アツシと平田クンから報告を受けた時は本当にうれしかったわ。
丁度エンジンも調子良かったし、なんたって一番たもんね。でもソアラはこれで終り。今後はゼロヨンに力を入れたいね。かなりあちこちでいい記録が出てるし……。今回の記録は半年くらいもつかな。エッ、抜かれたら、その時はまた考えますよ。そつていえはアツシと平田クン、抱き合つてワンワン泣いたんだって。あいつら感激屋だからなあ。」



「最高速はとつた! 次はゼロヨンだ!」
トラスト
大川光二

「とにかく。一番とりたいんや」
S130Zオーナー
金本クン
「300km/hオーバーを狙ってたんやけど、この前の記録(296・052km/h)で目標を310km/hにして車をつくったんや。300km/hじゃあんまりうれしくないヨ。費用も400万〜500万円くらいかかってるし、もう一回やりたい! デフも2種類持つて来るし、とにかく一番を取りたいんや。」

